

個別サポート調査票

児童氏名		年齢	歳	学校名	小学校、中学校、高校、支援学校	年生	普通学級 / 特別支援学級
記入日	令和 年 月 日	通園名	保育所、幼稚園、認定こども園、未入園				年少、年中、年長

【保護者の方へ】

- 児童の状態は、適切な支援が整っていない状況（例：保護者や、慣れている支援者がいない状況、初めての場所）を想定して判断してください。
- その行動項目について、「通常の発達において必要とされる状態等を除くと、いずれの項目結果になるか。」という視点で記入してください。

行動関連項目（該当する行動の□に✓をつけてください）			備考欄（項目以外で気になる行動等がある場合に記入）	
1 食事	☐ 一人で食べられる ☐ 喉に詰まらせないように、見守りや声かけが必要	☐ 細かくしないと嘔まずに飲み込む ☐ ミキサー食 ☐ スプーン等が使えず、大人が口に運ばないと食べられない	☐ 手づかみや食べこぼしが多い ☐ 介助の手を払いのける ☐ 窒息や椅子からの転落がないよう、常に個別の対応が必要	
2 排泄	☐ 一人でトイレに行って、全てできる ☐ 尿意・便意を伝えられるが一人では座れない	☐ 自分で拭く事ができない ☐ 決まった場所ではしか排泄できない（自宅のみ等）	☐ 漏らしてしまう事がある ☐ 医療的支援が必要 ☐ オムツを使用（1日中・夜のみ）【どちらかに○を付ける】 ☐ 排泄物を直接、手で触ることがある ☐ トイレ以外の所に排泄をする	
3 入浴	☐ 一人で入浴することができる ☐ お風呂に入るのを嫌がる	☐ 仕上げ洗いをしなくてはならない ☐ 感覚過敏があり、洗髪や洗顔、体を洗う事を嫌がる ☐ 石鹸やシャンプー、タオルなどにこだわりがあり、配慮が必要	☐ 常時、抱っこでの入浴である ☐ 全て手伝っている ☐ 入浴への恐怖がみられる	
4 衣類の着脱	☐ 一人で脱ぎ着ができる（時間がかかる時もある） ☐ 衣類、靴等の前後左右間違えるが、声掛けをしたら自分で脱ぎ着ができる ☐ 場に応じた服装や、気候に合わせた服装を選択するには、大人の確認が必要である	☐ ボタンやファスナーがある場合はサポートが必要 ☐ 衣類の前後左右が分かるように、用意する必要がある	☐ 一人で衣類の脱ぎ着が難しい ☐ 感覚の過敏さから、衣類の着用や靴下、靴を履くことを嫌がったり、素材が限定されたりする ☐ 衣類が濡れたら人前でも脱ごうとする	
5 聞こえ	☐ 問題なく聞こえる ☐ 補聴器等を使用したら聞こえる	☐ 聞き取りにくい音がある ☐ 聴覚過敏でイヤーマフ等の補助装具が必要	☐ 補聴器等を使用しても音や声を聞き取ることが難しい	
6 口腔機能	☐ 嚙んで飲み込むことができる	☐ 食材や調理方法に工夫が必要である（やわらかい物を舌や歯茎で押しつぶして食べる）	☐ 唇にスプーンを当てると口を開き、閉じて飲むことができる ☐ 丸のみをしてしまう ☐ 口蓋裂（こうがいれつ）・不正咬合などがあり食べることが難しい（哺乳瓶などを使用） ☐ 栄養摂取は、胃ろうなどの経管栄養で行っている	
7 姿勢の保持	☐ 支えがなくても座ることができる ☐ 一人で座り、手を使って遊ぶ事ができる	☐ 身体の一部を支えると座ることができる ☐ 姿勢を長時間保持することが難しい	☐ 座る為に全身を支える必要がある	
8 運動の基本技能	☐ 手の支えなしで階段の昇降ができる ☐ 両足同時にジャンプして転倒せずに着地でき、ケンケンも3回以上できる	☐ 階段を上る際に、交互に足を出すことが難しい	☐ 階段・ジャンプ・ケンケンの、どの動作も難しい	
9 移動	☐ 問題なく一人で歩ける ☐ 一人で歩くことができるが、近くで見守りが必要（ハイハイ・つたい歩き含む）	☐ 安定やバランス面で不安があり手をつなぐ必要がある	☐ 補装具・車いすを使用している	

裏面に続きます。

行動関連項目 (該当する行動の□に✓をつけてください)			備考欄 (項目以外で気になる行動等がある場合に記入)
10 危険回避行動	☐ 自分で危険だと判断して回避することができる ☐ 大人の声掛けがあれば、危険を回避することができる ☐ 危険を回避するために制止が必要		
11 集中力	☐ 話を最後まで、聞くことができる ☐ 気が散りやすく、集中できない ☐ 目につく所に、気になるもの(玩具、テレビ等)があると集中できない ☐ 周りの様子が気になり立ち歩きをしてしまう		
12 予測理解	☐ 周囲のサポートがなくても、見通しをたてて行動できる ☐ 声掛けだけでは難しいが、次の行動につながる見本や写真をがあれば行動できる ☐ 声掛けや視覚のみでは不十分なので、アラームや身体に触れて教える必要がある		
13 急な変化対応	☐ 急な予定変更を理解し、対応することができる ☐ 急な予定変更でも、声掛けだけでは難しいが見本や写真があれば行動できる ☐ 急な予定変更が理解できずに、癇癪・パニック等をおこしてしまう		
14 乱暴な言動	☐ 乱暴な言葉は使用しない ☐ 乱暴な言動があっても、場所移動をすることや物を使用することによって気持ちを鎮める事ができる ☐ 色々工夫しても、乱暴な言動の収束にはすぐに結びつかない、又は一定の時間をかけて落ち着くのを待つしかない		
15 コミュニケーション (人対人)	☐ 言葉を使って気持ちを伝えられる ☐ 身振りなどで伝えることができる ☐ 訴えている(要求する)時は目が合う ☐ 目が合い、微笑むことや、嬉しそうな表情をみせる ☐ 意思を伝えようとするが、方法が適切ではない(泣いたり、怒ったり、奇声をあげる) ☐ ほとんど目が合わない ☐ 意思を伝える気がない(あきらめている)		
16 人との関わり	☐ 適度な距離を保ちながら、相手とやり取りができる ☐ 特定の人であれば、関わりを持つことができる ☐ 自分から関わりを持つことはできないが、相手から関われることに対しては反応することもある ☐ 一方的に、自分の思いだけを伝えようとする ☐ 相手から関わってきても、拒否をしたり、無関心でほとんど反応しない ☐ 相手が嫌がっても、過剰にちかづいてしまう		
17 遊びや活動	☐ ほとんどトラブルはないが、自分たちで解決できるか、大人の支援があれば解決できる。 ☐ 本人が理解できる段階で、そこでの過ごし方や、解決方法を助言しても解決できない ☐ 時々トラブルはあるが、大人の支援があれば解決できる ☐ 相手の意見を聞き入れることが難しく、自己主張を続ける ☐ トラブルが頻繁に起きる		
18 集団への参加	☐ 集団活動へ参加できる ☐ 興味がある活動であれば、参加できる ☐ 最後まで参加できなくても、部分的には参加できる ☐ 本人が理解できる手段で、内容の説明があれば、その場にいることができる ☐ 強い拒否感を示す等、その場にいる事が難しい ☐ 支援があっても集団活動に参加することができない		
19 読み書き 【3歳以上の方】	☐ 支援がなくても、文字等の読み書きができる ☐ 一部理解できるが、口頭での補足が必要 ☐ 意味の理解ができないので、部分的に見守りや声かけ等が必要 ☐ 書くことは難しいが、パソコンやタブレット等の代用手段を使用すればできる ☐ 文字が理解できず絵カード・写真・手話等を使用することで理解できる ☐ 学習障害の診断がある ☐ 文字の理解ができない		
【小学生以上の方のみ回答欄】 行動関連項目 (該当する行動の□に✓をつけてください)			備考欄 (項目以外で気になる行動等がある場合に記入)
20 言葉遣い等	☐ 場所に合わない声の大きさと話す、または声が小さくて聞取りにくい ☐ 場所や、相手によって適切な言葉づかいができる ☐ 場所や相手によって、言葉づかいを分けること等を理解していると思われるが、気分によって難しい ☐ 支援があっても、相手や場所に応じた言葉遣いや態度で表現することが難しい ☐ 一方的な発言が目立つ	☐ 相手から気持ちを確認してもらうことや、代弁してもらうなければ表現することが難しい ☐ 自分の気持ちを伝える際に支援が必要	
21 やり取り	☐ 言葉どおりにとらえず、トラブルにならないような、やり取りをすることができる ☐ 口頭の質問に対して「はい」、「いいえ」の返答ができ、他の問いにも答えることができる ☐ 質問する時には、視覚的な提示(指さし)や返答の選択肢が必要(配慮があれば答えられる) ☐ 一方的な主張のみ繰り返してしまう ☐ 他者に関心がない ☐ トラブルになるようなやり取りが多い		
22 集団生活	☐ 集団のルールを理解し、支援がなくても参加ができる。 ☐ 集団のルールや雰囲気に基づくのが難しく、支援者の直接的な支援が必要 ☐ 支援者(担任・担当)が対象児童の特性を理解し配慮することで、集団活動へ参加できる ☐ 周囲の児童に理解してもらうことが必要	☐ 同年代のグループ活動が苦手 ☐ 集団の中で過ごすことから練習が必要 ☐ 集団生活よりも個別の日常的支援が必要	
23 その他	【対象者のみ回答】 ☐ 月経の対応に手伝いが必要である ☐ 外国語でのコミュニケーションが必要なため、翻訳を行う必要がある		